

東京帝國大學文學部教授 文學博士 吉田熊次 序 市川一郎 譯 著

# 教育の基礎たる哲學

常識と科學との部分的な人生觀及教育觀を排して哲學的即ち全體的人生觀及教育觀を與へ以て我國教育家をして明晰なる思想の所有者たらしむること之れ本書の使命なりとす。明晰なる思想より生ずる驚異すべき力の利用は凡ての我教育家をして明晰なる思想の所有者たらしむること之れ。本書の使命なり。素養の皆無なる人士と雖も易々として現代哲學の概觀を捉提し健全なる哲學的的人生觀及教育觀を樹立し得、以て從來と全く異りたる意義あり價值ある新生命を開拓し得んこと疑なし。

### 目次

緒論：第一章科學の目的範圍並に方法：第二章哲學の目的範圍並に方法：第三章科學と哲學との一般的關係：第四章哲學と教育との關係：第五章主意的唯心論の倫理學の教育的意義：結論：

四六判洋裝 正價金 壹圓 五拾錢 送料四錢 本美製上最判六四 金價正圓貳 錢拾五圓貳 錢二十料送

市川一郎氏新著 (最も初學者に適する入門書)

# 最新認識論講義

本書は認識の根本問題に關する過去現在の學說を眞に何人にも理解し得るよう巧妙簡明に講述せるものなり。一度本書を讀く時は哲學的論理的思索に無理解なる人士も將又既刊類書の難解に絶望せる人士も易々として眞理探求の眞方法を會得するの歡喜を味ひ得るや疑なし篤學の士の愛讀を待つや切なり。

市川一郎氏新著 (現代教育者必讀の要書)

# 教育の基礎たる社會學

本書は米國碩學の近著に係る應用社會學の一なる教育的社會學に據て社會學の主要なる原理と此原理に立脚する教育說の社會學的解釋とを講述せるものである。過去の因襲教育が心理學に依て改造せられたるが如く、行き詰れる現代の教育は是非社會學に依て改造されなければならぬ。實に本書の説く廣大にして根本的な教育說は狹隘なる天地に閉鎖せる今日の教育を廣闊清朗なる曠野に誘導するものである愛國の士の必讀を要請す。(文部省は勅令を以て社會教育課を新設す)

四六判最上製全壹 册四百餘頁箱入 正價 金貳圓 送料十二錢

大 同 館 發 行 圖 書 目 錄

文學士 高森良人氏新著「文明史的觀察に成れる書」

新 刊 滿 鮮 支 那 旅 行 の 印 象

袖珍最上製 全書册三百五十頁 正金壹圓五拾錢 送料十二錢

滿鮮支那を歩いて来た著者の頭には幾多の問題のみが残されて居る。古典を讀んで描いて居た支那も新聞雜誌を通じて想像して居た滿鮮も共にその真相とは餘程な距離があつた。旅行日記 それには聰明と發見とが必然的に産み出されて行くものである。而して過去現實若くは時空間に渡りをつけるものは何と云つても旅行が最も捷徑であらう。——惟ふに政治産業乃至教育の方面も思想藝術的方面も支那位ジャバナイズされた國はあるまい。而もその何れのものに對して文明史的の見地から正當なる批判を下したものは差當り見出しがれる。平常この缺陷の一部分でもいふから何とかして補ひ度いと思つて居る著者はこの際その企ての一端を表はさんが爲に態と紀行に助けて抱懐せる所説を披瀝したものが本書である。この意味に於て著者は淺薄なる思想をば飾るに閑文字を以てするが如き單なる月並の紀行と

日本及日本人本書を評して曰く

文學物として面白し

頗る趣味多き作である。

その軌を一にせざることを信じて疑はない。著者の湯仰せる新事物に對する知識慾と好奇心とを満足せしめる人々の一讀を冀ふも不當でないことを確信する。

群馬縣立師範學校教諭 齋藤始雄氏新著 四六判洋裝 正價金壹圓 送料貳錢

三 版 圖 畫 教 育 上 の 四 大 改 造 論

(自由畫教育論と實際 金壹圓 送料四錢 姊妹篇出づ) 自由畫の奮起によつて目醒めた圖畫教育界には續々と改造の鐵鎚が下つてゐる。本書は著者獨唯の慧眼と筆致とによつて自由畫の基調たる斯界の四大改造を論述し詳細に建設した愛書である。四大改造とは何か? 曰く自由畫論か、鑑賞教育論か、はた又美術史教育論か? 否々然らず。より一屬根本的なる重大問題があるのだ。吁!!! 實に國家のため眞剣なる實際教育に従事するの諸君よ。只本書を備へて解決を見られんことを。

東京豊島師範學校教諭 栗原寅次郎著 菊判最上裝 金五圓八拾錢 送料金十二錢

再 版 教 材 改 造 世 界 地 理 精 說

世界の大勢に通じ列國の形勢を明かにするも地理學の任務なり

外國地理教授の目的は世界を對象として自國の地位を明かにし世界的眼識の上に覺醒せる國民的自覺を喚起し之によりて眞に著實なる國民的活動を擧起せしむるにあり。本書は材料選擇に當りて特に我國との關係の方面を重視し世界の大勢に通ずると共に直ちに彼我刻下の形勢を理解せしめ同胞發展の實狀を詳かにして専ら今度の國民として國家的生活を營むに十分なる資を築むるに努めたり。内容は教授の要旨教具の準備教材の解説参考附説挿畫の説明教授上の注意の大項に分ち殊に教材の解説と参考附説とは自然人文の兩方面の關係を精査して充分に具體化し兒童の求智心を満足せしむべく以て取扱者の便宜に供せり要するに外國地理参考書としては現今第一と宣言す





◇小林一郎氏新著◇ —(佛教を知るべき手引草)—

# 刊新 勝鬘經通解

四六判最上製本  
全壹册四百餘頁  
正價貳圓參拾錢  
送料十二錢

眞の佛教は所謂佛教徒の佛教ではない。活きた世間で人類の生活に大なる光明を興ふるものが眞の佛教である。勝鬘は妙齡の一婦人であるが佛教の眞髓を得て其の夫を初め周囲の人を盡く感化し釋尊は深く之を嘆賞せられた。阿難等の人々に之を普く世に宣傳すべきことを命ぜられた。眞の佛教を知らんとする者は勝鬘經を讀まねばならぬ。聖徳太子が殊に力を用ひて此經を講ぜられたのも道理である。著者は從來の傳統を離れた自由な立場から此經を解釋した。特に餘論二十章には大なる苦心を注いだ。是れなら如何なる人にも分る筈だと信じて居る。意義ある生活を求める人々の一讀を望む。

◇早稻田大學教授 内ヶ崎作三郎序 工藤直太郎氏著◇

# 刊新 人間文化の出發

四六判最上製本  
全壹册四百餘頁  
正價金貳圓  
送料十二錢

現代の社會的不安と精神的惑亂は十九世紀以來「物」を以て「人間」を支配せんとした唯物文明の所産だ。現代生活の傷しき不信と苦悶とを救ふには「人間」を「物」より解放して、人間愛に生きる社會を創造せねばならない。個々人の生活を貫いて最高の統一目的に人間愛を體驗して奉仕することは人間文化唯物の極格より靈愛の世界に人間を解放し新らしき人間文化を創造せんとするところに現代人の崇高なる宗教的信念を見る。

發兌 東京市神田區神保町七 大同館書店

大 同 館 發 行 圖 書 目 録

奥山樹太郎氏編著 —(四六判最上製 正價金貳圓 送料金十八錢) —

# 全國兒童童謠壹千選

本書は全國兒童の傑作を集成せる外に現代斯界の權威たる 諸名家の傑作を添附す 研究者必讀の書

奈良女子高等師範學校訓導 河野伊三郎著

# 兒童童謠集 銀の笛

袖珍最上美本  
正價壹圓五拾錢  
送料十錢

兒童が作った童謠は雜誌等では見ますがそれを厳選して發表したものは未だ嘗てありません。本書はこゝに鑑みて兒童の作謠を厳選した上著者によつて又添削したもので、本書を見れば童謠になる材料の見方及びその表現法がよく分ります。童謠を指導する本は本書を措いて恐らく他にありません。

黒川延平著 ●童謠集 こんこん小雪 全一册 金壹圓五拾錢 送料十二錢

早稻田大學教授内ヶ崎作三郎序  
早稻田大學講師吉田絃二郎著  
四六判最上製美本全壹冊  
紙數五百卅頁  
貳圓五拾錢 送料十二錢

# タゴールの哲學と文藝

好評甚激  
忽ち七版

オイケンベルグソンの西洋哲學に對して尙ほ懐らざる所を覺ゆるの士は必ずや我印度の大思想家大詩人タゴールに來らざるべからず。彼の思想は印度思想の絶頂に達し彼の敬虔な生活は聖フランシスの如く彼の純眞な文藝の杯は處女の優しきみと綠幻爛蕩の薫りに満つ。本書は彼の哲學・文藝・詩の殆んど全體を網羅し彼を批評し紹介せんとするもの書中納むる所「生の實現」「園丁」「新月」「チトラ」「郵便局」「暗室の王」「ギタンヂヤリ」の主なる詩及殆んど全譯に等しき劇の梗概をも收め且つタゴールの評傳及彼の實生活をも掲げたればタゴール研究者の一權威たるを失はず我が現代人を以て任ずるの士は一日も速に外人をして「今後はタゴールの時代なり」とまで驚嘆せしめし彼の全集とも稱すべき本書を繕かざるべからず。

（タゴール紹介書中の權威識者の一讀を希ふ）

東京神田表保町七  
大同館發行

東京帝國大學文學部教授 宇野哲人氏新著（四六判最上製美本五百餘頁）

# 支那哲學の研究

正金價  
貳圓五拾錢  
送料二十錢

支那哲學史講話の姉妹篇

本書は上は三代より下は近世に至り或は一代の思想を概論し或は特殊の問題を細叙し支那哲學に關する博士獨特の研究は殆んど此書に網羅せらる。講話を読んで略々大意に通ずる者は更に此書に就て斯學の堂奥に參せよ。

東京帝國大學文學部教授 宇野哲人氏新著（四六判最上製美本三百餘頁）

# 二程子の哲學

正金價  
貳圓  
送料二十錢

著者は常に明道程子を推稱して孔孟以後の第一人とし私淑するもの茲に年あれば與に共に聖學を倡明せし伊川程子も亦吾人の知らねばならぬ所特に二程子は其學風夫れ夫れ特長ありて後來宋儒の二大學派を開き宋學に於て最も重要な位置を占むるのでこゝに伊川程子の哲學をも併論する次第である。善く讀む者は此書の獨り二程子其人を髣髴せしむるのみで無いことを知るであらう。

●●●大近松の時代淨瑠璃傑作選集出づ!!●●●  
 ●小林榮子女史校訂● (四六判最上製美本 金五圓五拾錢 送料金廿四錢)  
 (千三百餘頁箱入)

最新刊

# 近松傑作時代淨瑠璃集成

近松遊いて既に二百餘年世に其の天才を讃嘆する者益々多きを加ふるは偶然にあらず就中其時代淨瑠璃は趣向の雄大描寫の鮮麗なる文章の雅建なる後世作者の到底企て及ばざる所なり。今其中に於て殊に傑作と稱すべきものを精選し用語には一々適當なる漢字宛故事には一々正確なる考證を加へ義に世話淨瑠璃の校正に費したるに數倍する精力を傾けて本書を成せり。苟くも近松の眞面目を知らんとする人は必ず一本を手にせざるべからず

目 次 内 容

出世 景清	百合若大臣野守鏡	日本振袖始	雙生隈田川
釋迦如來誕生會	吉野都女捕	會我會稽山	傾城反魂香
百日會我	狐山姥	傾城酒吞童子	室町千疊敷
最明寺百人以上講	孕常盤	本朝三國時	信州川中島合戰
雪女五枚羽子板	國姓爺合戰	平家女護鳥	關八州聚馬

東京市神田表神保町  
 大同館藏版

東京帝國大學文科助教授 文學士 宇野哲人先生新著

## 四書講義 大學

菊判最上製美本  
 全壹冊參百五拾頁  
 正價金貳圓  
 送料十八錢

### 好評四版

大學は儒教の目的を最も善く組織的に叙述せるものなりとは著者の創明する所、此書は如上の見解によりて平易明晰に講述せるものにして冠するに大學要旨を以てし附するに索引及之と密接の關係ある幾多有益の研究を以てす。苟くも儒教の何物たるかを知らんと欲せば必ず此書を讀みて著者の圓熟せる講話を聞かざるべからず。

東京帝國大學文科助教授 文學士 宇野哲人先生新著

## 四書講義 中庸

菊判最上製美本  
 金壹冊貳百八拾頁  
 正價貳圓五拾錢  
 送料十八錢

### 好評五版

儒教の目的は大學に備はり、儒教の根本義は中庸に明かである。かくて中庸の二書は經となり緯となり。互に相持つて儒教の眞相を傳ふ。著者は如上の見解を以て先に大學講義を著し今亦中庸講義を著す。大學に由て既に儒教の目的を明かにせる大方の士は講義を更に中庸に就いて儒教の眞面目を了せよ。尙附錄數篇は皆直接間接に中庸の意義を明かにするものである。

東京帝國大學  
文學部教授

文學博士 宇野哲人先生新著

# 支那哲學史講話

菊判最上製美本  
全壹册五百頁  
正價金  
貳圓五十錢  
郵稅拾八錢

## 第拾五版

本書は上古より清末に至る支那思想の概要を極めて平易に簡明に叙述して最もよく要領を盡くせるものなり特に清朝に於ける學術思想の變遷が如何に暗々裏に革命を惹起するに至りしか支那の新人の思想は如何なる傾向を帯ぶるかはその最も留意せし所に於て從來世に行はれたる支那哲學史の缺陷は本書に依り補足せられて亦遺憾なし本書は又附録として一々原文を掲げて直ちに堂奥を窺ふの便に供し亦著者の議論の根據あるを知らしむ要するに本書は初學者にも専門家にも座右に缺くべからざる絶好の新著なり。

教育學術會編纂 (文檢修身科漢文科受驗者の福音) 最新刊

# 文 驗 論 語 解 義

四六判最上製美本  
約六百餘頁箱入  
正價金  
貳圓八拾錢  
送料十八錢

修身科漢文科の文檢試験には毎年論語から問題が出る問題は字句の解釋と思想の叙述とだがかかる要求に十  
分應じ得る参考書は從來見當らない本書は此の要望に添はんとために編纂せられたものである。内容は(一)所  
題(二)字句講義(三)思想研究の三篇より成り思想研究の部には根本思想倫理思想政治思想人性に關する思想  
教育思想宗教思想其他を闡明した最後に論語思想を現代の思想の上から縱横に批評を試みた文檢修身科・漢  
文科・教育科受驗者の是非一讀すべき良書である。

◇海軍造船大監 櫻井省三 先生

文學士 鈴木周作氏譯

四六判最上製美本  
全壹册  
正價金  
貳圓  
送料  
十二錢

# ベルリ 日本遠征記

## 提 督

## 稀代の珍書出づ

(大阪毎日新聞評)——日本開國の由來と其の當時の社會事情とを  
知るに最も貴重なる史料の一に數ふべきベルリの日本遠征記を  
史實と興味とを旨として之に關する記事を平易なる口語  
體の文章を以て譯述せるものにして書中米艦來航の

事情兩國委員折衝の状況等は具に外交の委曲を述べ或は風俗を述じ或は人情を品し其實相を紹介せる所はさ  
ながら五十年前の我が國の光景を寫映せる活動寫眞ても目睹たる如き感あらしむ。  
——(東京日々新聞評)——所謂黒船騒動の一面は紙上に躍如たり。當時米國人が日本を如何に觀察したるかを知  
るだけでも此の書の價値は十分なるにベルリの觀察眼は頗る奇警に富み詳細に論議す一度繰れば巻を描く  
能はざる近來の好著なり。——(東京朝日新聞評)——修交通商條約談判の經過が寫生風の記事文で恰も眼の前に  
見る如く詳細に叙述してあるので史料としても貴重なものだがそれよりも趣味饒かなる讀物として手を惜く  
に及びぬ感がある。



エト3269

大 同 館 發 行 圖 書 目 錄

□□ 渡部政盛先生新著 □□ 菊判最上製表本 參圓八拾錢 送料金 全壹冊五百餘頁 廿四錢

# 日本教育學說の研究

我が國の教育學は今や全く行詰て仕舞つた。吾人は之を打開せねばならない。本書は斯くの如き貴き使命を帯びて公にされたものである。内容は諸論：第一章明治前半期の教育學說：第二章日本最近の教育學說：第三章個人的教育學說(谷本)第四章社會的教育學說(熊谷、樋口、吉田、田中、野田)：第五章調和的教育學說(大瀨、森岡、小西、溝淵)：第六章生活完成の教育學說(下田)：第七章文化的教育學說(乙竹)：第八章人格的教育學說(中島)：第九章實際的教育學說(澤柳)：第十章自動的教育學說(河野)：第十一章公民的教育學說(川本)：第十二章創造本位の教育學說(稻毛)：第十三章分團的教育學說(及川)：結論：の諸章より成つてをる。特色は諸家の學說の詳叙と忌憚なき批判とにあるは言ふまでもない。隨て學者先づ本書を讀むの義務があり。教育學者文檢受驗者は本書に依つて學者の說の要點と長短とを知る必要がある敢て弊館の大言以て江湖に本書を推薦する所以である。

## 文檢受驗者の最大福音

終

